

2017年1月5日

報道関係各位

2017年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：犬飼 律子

TEL 03-6361-7100

## “漢方”のイノベーションによる新たな価値を創造する

新年、あけましておめでとうございます。

今年の干支は、<sup>ひのと</sup>丁・<sup>とり</sup>酉ですが、昨年から続く陽気により果実が成熟を迎え、ピークアウトしていく。そして、新たな力が発生するという、変わり目、変革の年であると言われていいます。当社グループとしては、「伝統と革新」という基本基調において、特に、革新・変革・イノベーションを強く意識して取り組んでいくべき年ではないでしょうか。

昨年5月に発表した新中期経営計画では、「漢方」のイノベーションによる新たな価値の創造」をテーマに、「漢方市場の拡大と安定成長」「収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化」「中国における新規ビジネスへの挑戦」の3つを戦略課題として掲げました。

テーマについては、基本基調である「伝統と革新」に基づき、漢方に新たな価値を吹き込むためには、革新・改革・イノベーションが必要であるという意味から「漢方」のイノベーションによる新たな価値の創造」としました。漢方製剤に関しては、より高い次元でのエビデンスを構築し、新技術活用による品質評価方法を模索するなど、新しいステージでの取り組みがスタートしています。これらの取り組みは、患者様が安心して服用され、医療関係者に安全かつ有効に治療効果をあげていただくためにはどうあるべきかを明確にし、イノベーションにより新たな価値を創造していくという強固な意志です。また、労働生産性の向上となるロボット技術などの導入や、自社管理圃場における生薬栽培を加速することにより大幅な原価低減を目指すのも、改善レベルではなく改革・イノベーションレベルの取り組みです。

昨年8月には、日本東洋医学会と日本漢方生薬製剤協会の共催で「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」が発足しました。「がん領域」「高齢者領域」「安定供給と品質」についての研究会が3回開催され、それぞれで提言が出されました。国民医療における漢方治療の現状の正しい理解が進み、その役割や必要性に対して期待が寄せられています。私たち役職員も、正しい理解と情報発信を積極的に行うことが重要です。国民医療における漢方の現状と将来ビジョンについて積極的かつ情熱的に伝えることで、はじめて世論が醸成されていくものと、覚悟を決めて行動しましょう。

最後になりますが、皆さまにとりまして、今年が最良の年となりますこと、またご家族の皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

以 上